

経 済 民 生 常 任 委 員 会 記 録

平成 31 年2月5日(火)午前 10 時 30 分～午前 11 時 34 分(9階 904 会議室)

○出席委員(9名)

委 員 長	石原洋三郎
副委員長	誉田 憲孝
委 員	佐々木 優
委 員	後藤 善次
委 員	斎藤 正臣
委 員	黒沢 仁
委 員	佐久間行夫
委 員	山岸 清
委 員	渡辺 敏彦

○欠席委員(なし)

○市長等部局出席者(なし)

○議 題

「地域密着型プロスポーツチームとの連携による地域の活性化に関する調査」

- (1) 委員長報告のまとめについて
- (2) その他

午前10時30分 開 議

(石原洋三郎委員長) ただいまから経済民生常任委員会を開会いたします。

議題は、お手元に配付の印刷物のとおりです。

地域密着型プロスポーツチームとの連携による地域の活性化に関する調査を議題といたします。

委員長報告のまとめについてを議題といたします。

前回、1月29日の委員会において委員長報告の素案をお示しさせていただき、委員の皆様よりさまざまなご意見を頂戴いたしました。

今回、それらも踏まえ修正したものと、新たに正副委員長手元で文言の削除や入れかえなど修正し

たものも加え、再度委員長報告案を作成させていただきました。なお、お手元の委員長報告案は、修正箇所がわかるように、ゴシック文字と見え消しで表示しております。また、前回の委員会をもとに修正を加えた箇所には網かけ表示をしており、正副委員長手元で修正した箇所とわかるように区分けしております。

正副委員長手元で修正させていただいた箇所としては、表現の見直しや細かい文字の修正を行いました。また、全体的に連携、活用という表現が多く、それらをより具体的な内容で表現するため、語句の修正を行うなど、抽象的な表現を補足するような修正を加えたところであります。再度正副委員長で具体性を持たせるために文言の表現を追記したり、あるいは事実関係が抜け落ちていたため追記したものもあつたり、接続部分の修正などを多数行っております。

今回正副手元で修正した箇所が多く、大変申しわけありませんが、細かいところは後ほど黙読の時間をとりたいと思いますので、そこでご確認をいただくとして、前回の委員会で議論のあつた修正点も含め、主な変更点をまずは確認してまいりたいと思います。

それでは、2ページ目なのですが、2ページ目の10行目から11行目になります。この部分におきまして、サッカー東北社会人1部リーグに所属するF Cプリメーロと、14行目になりますが、いわきを拠点とするプロスポーツチームの追加として、バンディッツいわきを追加いたしております。これは、前回の委員長報告案には記載されていなかったのですが、その後、事実関係をより詳細に調査いたしましたところ、郡山市ではF Cプリメーロというプロチームがあつて、またバンディッツいわきもあるということでありまして、この部分を追加させていただいた次第であります。

続きまして、4ページ目をごらんいただければと思います。4ページ目の19行目から20行目であります。これは、12番目相当の数字に当たりますという表現だったのですが、12番目という低い数字になっておりますということで、前回ご指摘いただいた部分であります。低い数字ということ強調させていただいております。

続きまして、5ページ目になります。12行目から17行目であります。これは、前回斎藤委員のほうからご指摘あつて、山岸委員もよく、強くなくてはいけないということで、削除したほうがいいのではないかというお話があつたところであります。正副手元でいろいろと全体的な文言等々を確認していったときに、14行目から17行目までは削除ということにさせていただいたのですが、行政で行える支援策としては、では何に一番に取り組んでいたかという、やはりチームに市民に身近な存在となつてもらうように行政が行っていくと、そこに一番力を置いていたのは、川崎もそうでありましたし、松本市や町田市もそうであつたということで、やはり行政として行える支援策の一番は何だということは、委員長報告の全体的なつながりの中でも残していたほうがいいのではないかということで、行政で行える支援策としてという言葉を入れることで残させていただいた次第であります。当然チームには一番強くなつてもらわなくてはいけませんし、チーム自身としては強くなくてはいけないのだという意味合いはこのことによつて残るのではないかというふうに思いまして、このよう

にさせていただいた次第であります。そして、18行目に、さらに松本市においてはというところを、このさらにという接続詞を例えばそれに加えてとか、特にというふうに直したほうがいいのではないかという話があったのですが、この12行目から14行目を残すことで、接続詞の部分はさらにというそのままでいいのではないかなということで、特にこのさらにというところは文言としてかえてはいないところであります。

続きまして、6 ページ目の17行目になります。これは、アウエーという表現、市民一般の方からしたときに、やはりアウエーという言葉がわかりづらい方も多くいらっしゃると思いますので、相手チーム会場ということで文言を修正させていただいた次第であります。

7 ページ目の16行目になります。連携、活用の手法を具体的に表現するため、協働の視点によるという言葉を追加させていただいております。先進自治体の事例も協働による取り組みが多かったことから、協働による視点という言葉を追加させていただきました。福島市もよく瀬戸市長のころから協働のまちづくりということも、よく協働という言葉は使ってきておりますけれども、全庁的なプロスポーツチームの活用と連携って一体何なのだったときに、やはり行政とチームがともにやっていくという、その協働という視点が大切だということで、この協働による視点というものも追加をさせていただいております。

続きまして、8 ページ目の7行目になります。このアイデンティティーの醸成という言葉で、やはりこのアイデンティティーって一体何なのというご指摘をいただいたわけですが、この部分に関しましては愛着と一体感を高めることということが望ましいのではないかと、アイデンティティーには幅広いいろんな意味があるかと思うのですけれども、地域の愛着と一体感を高めるということがこの文脈上はよいのではないかなと思ひまして、このように修正をさせていただきました。

続きまして、8 ページ目の10行目から11行目であります。ここの部分におきましては、年度初めの庁議のような場で、全部署によるクラブとの協働事業を確認、徹底することやということを文言追記させていただいております。松本市におきましても、庁議のような会議の場で全庁的なクラブの活用策を確認していたというような事例もありましたし、川崎市においても市民を巻き込んでの全市的な取り組みもやっているぐらいでありましたので、やはりこの全庁的な取り組みをしてもらいたいということから、この文言を追加させていただいております。

続きまして、8 ページの12行目であります。週1回または月1回、必要であれば毎日といった形であるということであったのですけれども、ここは週1回、必要であれば毎日ということで、月1回という言葉は削除させていただきました。

続きまして、8 ページ目の15行目から9 ページの1行目にかけてであります。クラブとどのような協働事業が可能か改めて協議、確認を行い、庁議などの場でということを追加をさせていただいております。これは、今ご説明したとおりの意味合いで追加をさせていただきました。8 ページです。8 ページの17行目から18行目でございます。17行目から18行目に協働のパートナーであるという認識に

立ちという言葉を追加させていただいたり、また19行目を綿密という言葉から定例的なという言葉にかえさせていただきました。綿密な連絡体制というところを定例的な連絡体制ということにさせていただいております。また、9ページの1行目で、庁議などの場でと追記をさせていただいております。

続きまして、9ページの18行目から19行目をごらんください。ここには、特に試合へ足を運ぶ機会が少ない幼稚園生や小学生、高齢者世代にも興味を持ってもらえるようという言葉を追記、追加させていただいております。特に松本市などでも、高齢者世代が来れば子供を連れてやってくるというようなお話もあったわけでありますけれども、より具体性を持たせる意味で入れさせていただいた次第でございます。

続きまして、11ページ目の11行目であります。ここでは、広域連携を記載がされているのですけれども、具体性を持たせる意味で、昨年11月に設立した福島圏域連携推進協議会の場などを積極的に活用しという文言を追加させていただいております。広域連携ということで福島圏域連携推進協議会というのが設置されたわけでありますので、その場で積極的にこれを活用していくべきではないかという具体性を持たせた意見となっております。

12ページ目をごらんいただければと思います。クラブという表現がサポーターズクラブと混同してしまうのではないかとのご指摘がございました。さまざま考えさせていただいた次第ではあるのですけれども、サポーターズクラブのほうに関してはサポーターズクラブという表現でしてありまして、F Cユナイテッドの部分がクラブということでも、表現の変更なしでも意味合いとしては対応できるのではないかとということで、なかなかいい妙案といえますか、見つからなかったものでして、そのままクラブということで表現をさせていただいております。

修正点の主なものは以上のとおりとなります。説明を省略した、正副委員長手元で行った、そのほかの修正が多々ございます。これらは、趣旨が変わるものではありませんけれども、それら修正点と全体的な内容を再度ご確認ください。これから15分ほど黙読の時間をおとりしたいと思えます。11時まで各自でご確認いただければと思います。よろしくお願いいたします。

【資料黙読】

(石原洋三郎委員長) それでは、時間になりましたので、ここで改めて皆様より委員長報告案について修正点などあればご発言願います。

なお、修正がある場合には、それにかわる文案を出していただいた上で協議したいと思えますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(渡辺敏彦委員) まず、細かいところからけれども、8ページのアイデンティティー直したでしょう。地域の愛着と一体感って、これ地域への愛着感のほうがなじむのだと思うのだけれども、アイデンティティー直したはいいのだけれども。

あと、9ページの19行目の幼稚園生と書かれているけれども、幼稚園生なのか幼稚園児なのか。小学生は小学生でいい。幼稚園児なのかな。これ違和感があるのだけれども。幼稚園生でもいいのかい。

（山岸 清委員）いや、園児でしょう。

（渡辺敏彦委員）幼稚園児でしょう。

（菅田憲孝委員）直すとすると、幼稚園に限定する必要はなくなってくる。幼稚園の子だけになってしまうので、もし直すとすればもうちょっと直してしまってもいいのかもしれない。

（渡辺敏彦委員）幼稚園生というのはなじまないでしょう、とりあえず。幼稚園生というのか。俺は余り幼稚園生って聞かない。

（山岸 清委員）幼稚園児でしょう。

（渡辺敏彦委員）普通は園児だね。

（佐々木優委員）幼児とかでもいい。

（渡辺敏彦委員）子供たちでもいいし。

（石原洋三郎委員長）子供といっても保育園児もいるし、幼稚園、保育園に通っていない子供もいるので、子供たちですか。

（渡辺敏彦委員）あともう一つ、これ一番最初、1 ページなのだけれども、12行目の地域の活性化と行政課題解決って、上にも当市の行政課題とあるのだよね。行政課題の解決と書かれていて、上は交流人口の拡大とか地域のコミュニティーとか、ずっとなっていて、あと地域の活性化効果というのがポイントなのでしょう、多分。この下に行政課題と黒く書かれているのだけれども、この行政課題って何の課題を対象にしているか。地域活性化だけで終わってしまうような気がするのだけれども。どうなのかなと。行政課題の解決するのに、何を解決するのだということを考えていくと、多分この交流人口の拡大とか、これが課題になっていて、など地域活性化効果というのが課題なのでしょう、多分。そういう意味なのでしょう。

（石原洋三郎委員長）少年、子供たちの夢を育むとか、スポーツ機運を醸成していくとか、そういう活性化以外の……。

（渡辺敏彦委員）子供たちってどこかに出てくるのだっけか。行政課題として出てくるものなんてないでしょう。地域活性化というと、子供らも全部ひっくるめて総合的に何か聞こえるでしょう。これ行政課題って例えば何を言っているのかなとって、子供のことでいいのだけれども。

（石原洋三郎委員長）そうですね。交流人口の拡大や地域コミュニティーの醸成ということではあるのですけれども、にぎわい創出……。

（渡辺敏彦委員）地域活性化と行政課題の解決というのは、行政課題の解決ってこれ何解決するのだいと聞かれたときに、何だいと。そこに書かれているものは、さっき言ったように、交流人口の拡大とか地域コミュニティーとか商工業の活性化と書かれている。だから、行政課題解決って、その課題って何だいと聞かれたときに何て答えるのだいという話よ。

（黒沢 仁委員）ここにあるでしょう。プロスポーツチームとの協働によるさまざまな取り組みということでもいい。

(渡辺敏彦委員)行政課題って何ですか。どういう行政課題に対して効果を出そうとしているのだと、ここに書かれているものでは、さっき言ったように、交流人口が余りないから、拡大しようとか、そういうものが課題なのでしょう、多分。それを総じて地域活性化効果といって書いているのでしょうか、上で。

(石原洋三郎委員長)そうですね。地域活性化効果が期待できるものということでありますね。

(渡辺敏彦委員)地域活性化効果というのが1つ書けば、何も要らないのではないかということよ、簡単に言うと。何か行政課題の解決するなんてすごく重々しい感じして、悪くはないのだけれども、何となくぼやっとはわかるのだけれども、意味は。何て書くか、ちょっと容易でないけれども。

(石原洋三郎委員長)では、地域の活性化を図っていくためというふうにしたほうがよろしいでしょうか。

(渡辺敏彦委員)課題解決って何が課題なのかなと思ったから。

(石原洋三郎委員長)地域活性化効果が期待できると書いてありますよね。

(渡辺敏彦委員)これを課題だと思っているのであれば、地域活性化効果だけでいいということになれば、この下は、行政課題解決のためとか、あえて入れなくてもいい。

(渡辺敏彦委員)あと、上にももう一回書かれているのだ、行政課題を解決と。

(石原洋三郎委員長)そうですね。

(渡辺敏彦委員)だから、どうなのかなと思うのです。

(石原洋三郎委員長)わかりました。削るようにいたします。

あと、済みません、先ほどの9ページ目なのですがけれども、幼稚園生や小学生というところを子供たちというふうに……。

(渡辺敏彦委員)それでもいいと思うし。

(石原洋三郎委員長)したほうが、一くくりにしたほうがいいかなとは思いますが。

(渡辺敏彦委員)小学生も子供だからね。

(佐久間行夫委員)5ページの9行目で、そのためこれまで効果が上がっていない市の事業について分析しというのがあろうでしょう。これって何か明確ではないよね。では、何が市の事業で効果が上がっていないのって、明確にしなくて、こんなぼやっと言って、委員長報告としてふさわしくないなと思ったのだけれども。

(山岸 清委員)それは言えるな。

(佐久間行夫委員)明確にしていないこと自体がうまくないな、自分たちの分析が不足しているなど逆に言われそうだから。

(渡辺敏彦委員)大きな流れからすれば、行政課題というものなのだろうから、地域活性化がなされていないという流れなのでしょう、多分言いたいところは。

(石原洋三郎委員長)ユナイテッドを支援していく市の取り組みということですかね。市の事業とい

うのは、今までユナイテッドをどういうふうに支援していくかということに関して。

（佐久間行夫委員）具体的に市の事業ってどれと言われると。

（石原洋三郎委員長）そうですね。確かに今までやってきた取り組みとか書いていないので。

（佐久間行夫委員）では、市のこれまで行ってきた支援事業を総点検しとか何かのほうがかえっていないのではないの。

（渡辺敏彦委員）支援事業と書けばね。

（石原洋三郎委員長）そうすると……。

（佐久間行夫委員）これまで行ってきた、市の行ってきた支援事業を総点検し、市民が応援する機運を醸成していくとか何かというふうにしたほうが、全然市がやってきていないようでも困るし、逆に。

（石原洋三郎委員長）そうですね。

（佐久間行夫委員）ただ、上に書いていないから、今まで行ってきたという市の事業というのがいろいろあるでしょう。ここに書いてあるようなのも少し含めるから。そうでないと、これ、では何をと言われると困るのだよね。全てなのだろうね。点検しなくてはいけないことになって。

（石原洋三郎委員長）それでは、そのためこれまで行ってきた支援事業を総点検し、市民が応援する機運を醸成していくことが急務となっております。

（佐久間行夫委員）どうだろうね。

（山岸 清委員）それでいい。

（佐久間行夫委員）それでいいって。

（石原洋三郎委員長）ほかございますでしょうか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

（石原洋三郎委員長）では、一応ちょっともう一回確認させていただきます。済みません。暫時休憩いたします。

午前11時11分 休 憩

午前11時13分 再 開

（石原洋三郎委員長）委員会をまた再開いたします。

確認であります。再度今の修正部分を確認させていただきます。1ページ目、12行目になりますが、地域の活性化を図っていくため、地域密着型プロスポーツチームとの連携による云々というふうには、地域の活性化を図っていくためというふうにさせていただくということと、続きまして5ページ目、9行目になりますが、そのためこれまで行ってきた市の支援事業を総点検し、市民が応援する機運を醸成していくことが急務となっておりますというふうにしたいと思います。

続きまして、8ページ目の7行目、地域への愛着と一体感を高めることということで、地域へのとさせていただきます。

また、9 ページ目なのですが、18行目、情報発信や広報支援に取り組み、特に試合へ足を運ぶ機会が少ない子供たちや高齢者世代にも興味を持ってもらえるよう、クラブの認知度向上にというふうにしたいと思います。

以上、よろしければ、ただいますぐ文言を修正して、委員長報告案を皆様に提示させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(石原洋三郎委員長) それでは、暫時休憩させていただきます。

午前11時15分 休 憩

午前11時30分 再 開

(石原洋三郎委員長) 委員会を再開いたします。

それでは、委員長報告案をお配りさせていただきます。

【資料配付】

(石原洋三郎委員長) それでは、一応ご指摘いただいた4カ所なのですが、1 ページ目ですと10行目になります。地域密着型プロスポーツチームが存在している状況を十分に生かし、地域の活性化を図っていくためというふうに修正しております。

続きまして、4 ページ目、12行目になります。そのためこれまで行ってきた市の支援事業を総点検し、市民が応援する機運を醸成していくということでさせていただいております。

続きまして、7 ページ目、5 行目になりますが、地域への愛着と一体感を高めることということで修正させていただいております。

続きまして、8 ページ目、15行目になります。特に試合へ足を運ぶ機会が少ない子供たちや高齢者世代にも興味を持ってもらえるようということでもさせていただいております。

以上4カ所の修正内容が今のところでありまして、あと全体的には全てさきのお示ししたとおりの内容となっております。

この内容を会派の皆さんに、各自コピーなりしていただいて、会派において3月1日までに確認していただきますようお願いいたします。

3月1日に定例会議散会後に委員長報告案を確認再度させていただければと思います。そのため、2月22日、当初ご予定していただいていたのですが、2月22日の委員会はないということでよろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(石原洋三郎委員長) それでは、3月1日、定例会議散会後の委員会において委員長報告案を再度確認させていただければと思います。

そのほか何か皆様からございますでしょうか。

(山岸 清委員) 1 ページの 2 行目の何回は、これはそのとき入れればいいな。

(石原洋三郎委員長) そうですね。

(山岸 清委員) 了解。いいです。

(石原洋三郎委員長) ほかがございますでしょうか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(石原洋三郎委員長) それでは、各自会派で再度ご確認をお願いいたします。

午前11時34分 散 会

経済民生常任委員長 石原 洋三郎